

# 防災・減災のつどい

演 題 地域力を高める防災訓練



発表団体 五個荘地区まちづくり協議会  
発表者 安心・安全事業部長 大橋保治

# 報告事項

## 五個荘地区防災訓練の取り組み

平成24年五個荘東地区防災訓練

平成25年五個荘南地区防災訓練

平成26年五個荘北地区防災訓練

平成27年五個荘地区防災訓練から

令和元年五個荘地区総合防災訓練



# 活動のスライド



# 五個荘(東地区)総合防災訓練

五個荘地区まちづくり協議会 (安心・安全事業部)

日 時 平成24年8月26日 (日) 10:00~12:00

訓練場所 五個荘東幼稚園駐車場および

高齢者能力活用センター一駐車場

対象地区 五個荘東地区12自治会

1,447世帯 4,214人

参加人員 400名

(まち協スタッフ各種団体を含む)



# 事業の目的

- ①自治会の自主防災組織の向上を目指す
- ②災害時要援護者の避難支援体制の制度を確立する
- ③各自治会との連携による助け合いの推進を図る

## 防災訓練までの打ち合わせ

- 5月24日（木） 安心・安全部会にて素案の検討
- 6月5日（火） 各種団体代表者会議にて説明
- 6月20日（水） 安心・安全部会で検討
- 6月26日（火） 安心・安全部会全体会議にて説明
- 7月1日（日） 東地区自治会長への趣旨説明および協力依頼
- 7月12日（木） 防災訓練の説明会の開催
- 8月21日（火） 防災訓練の最終の打合せ

# 訓練内容について

## 災害想定

東南海・南海地震により震度5～6の地震発生、住宅の一部倒壊、火災の発生

## 情報収集

東近江市災害対策本部、行政機関、関係機関からの情報収集と該当地域への情報提供

## 避難誘導

自治会一時集合場所から訓練会場への避難誘導

## 初期消火

初期消火訓練（水消火器）

放水訓練（市消防団第4方面隊第12分団）

## 救出訓練

負傷者の救出、簡易担架での搬送等

## 救護訓練

負傷者の応急手当、心肺蘇生、AED使用訓練

## 給水訓練

飲料水の配布

## 炊き出し訓練

炊き出し訓練

## 防災啓発

防災ハンドブック、東日本大震災パネル展示、防災グッズの展示、防災DVDの上映会（子ども向け）

# 五個荘（東地区）総合防災訓練進行

## ○避難誘導

午前10時 各自治会の一時避難所に集合

一時避難所で参加者（避難者）を把握（チェックシートび参加者数を記入）

午前10時10分 訓練会場へ誘導開始

## ○被害があった自治会は災害対策本部へ連絡

①木流町 負傷者1名（右足骨折）会議所倒壊

②奥町 負傷者1名（右手骨折）奥神社付近の民家から火災発生

③三俣町 負傷者1名（頭を強打）自治会館倒壊

④山本町貴船 負傷者1名（左足を打撲）貴船神社参道から崖崩れ

⑤新堂町、負傷者1名（意識不明）新堂ふるさと館から火災発生

上記の被害状況を災害対策本部へ報告

本部連絡後、状況をホワイトボードに記入していく。

## 災害対策本部設置



## 各自治会から訓練会場へ避難誘導



## 被害状況の報告



給水訓練



救護所



防災グッズの展示



炊き出し訓練



# 事業の成果

東地区では、自主防災組織を結成された自治会が少なく、この訓練を機会に結成に向けた機運が高まりました。また、東地区以外からの参加があり、防災訓練等を実施されている自治会との情報交換の場所となりました。

避難訓練では当初の計画を上回る約400名の参加がありました。また、災害時要援護者の把握をされ訓練に参加される自治会もありました。

防災訓練を通じ、地域住民の防災意識の高揚と各自治会での防災・減災に対する取り組みを支援することができました。

# 今後の事業展開

平成25年度は南地区、平成26年度は北地区で、平成27年度は五個荘地区全体で総合防災訓練を計画。また、反省点としては、

①車いすで参加された方に、避難者としての対応が不十分であった。次年度へ課題として捉え、災害時要援護者の視点を訓練へ結び繋げることを確認しました。

②音響設備が簡易アンプのため会場全体へ、何の訓練をしているのかわからなかった。

# 五個荘（南地区）総合防災訓練

五個荘地区まちづくり協議会（安心・安全事業部）

日 時 平成25年8月25日（日） 8:00～10:00

訓練場所 ぶらざ三方よし（五個荘塚本町）

対象地区 五個荘南地区 7 自治会

993世帯 2,848人

参加人員 400名

（まち協スタッフ  
各種団体を含む）



# 事業の成果

訓練当日は朝から雨が降る中、約400名の参加者がありました。外で予定していましたが、救護訓練（負傷者の応急手当・心肺蘇生・AED使用訓練）等は急遽室内でおこないました。また、地元の塚本町自警消防と市消防団第13分団が連携し放水訓練をおこないました。

昨年度の反省から、災害時要援護者への視点をいかにするため、地元の特別養護老人ホーム清水苑へ災害時要援護者の方が避難した想定で、訓練会場への搬送訓練の実施ができました。

2階会議室では親子で見ただけのDVDの上映会（とっところハム太郎の とっところ大事だ！防災訓練）をおこないました。

平成25年12月25日、市内の福祉施設等と市が専門福祉避難所の協定を10施設と締結されました。



# 五個荘(北地区)総合防災訓練

五個荘地区まちづくり協議会（安心・安全事業部）

日 時 平成26年8月30日（日） 8:00～10:00

訓練場所 五個荘コミュニティセンター（五個荘小幡町）

対象地区 五個荘北地区 8 自治会

1, 730世帯 4, 842人

参加人員 550名

（まち協スタッフ  
各種団体を含む）



# 反省点

- 1, 救護訓練ではAED使用訓練、心肺蘇生については、1班コミセンロビー、2・3班は小ホールで行いましたが、混雑していたので会場に余裕がある方がよい。また、訓練の最中にアナウンスが入り消防署の説明が聞きとりにくかった
- 2, コミセンの入口付近で混雑しておりスムーズな誘導をすればよかった
- 3, お年寄りの方にはスロープから入ってもらうよう配慮が必要
- 4, **中学生の協力をいただけないか**（東北支援のパネル展示や報告等）

# 事業の成果

今回の訓練でも、北地区内にあるデイサービスセンターやグループホームと協力して災害時要援護者の対応を行うことが出来ました。

また、初期消火訓練では、**バケツリレーによる消火訓練**をおこないました。

# 五個荘地区総合防災訓練

五個荘地区まちづくり協議会（安心・安全事業部）

日 時 平成27年8月29日（土）

7:30～10:00

対象地区 五個荘地区 27自治会  
（五個荘中学校生徒）

参加人員 3,650名

（一時集合場所・訓練会場）



# 訓練について

## 1、情報収集（市災害対策本部と各自治会）

愛知川の氾濫が予想され、避難指示が発令。愛知川沿岸の自治会（奥町、小幡町、中町、築瀬町、和田町、河曲町）に、**五個荘支所（水防班）より永源寺ダムから（毎秒1500ト）放流の連絡をおこなう。**

2、五個荘中学校が避難所になるため避難所開設訓練を同時におこなう。

## 各自治会での避難誘導訓練

**各家庭から各自治会一時集合場所に集合し安否確認等おこなう。また、訓練会場への徒歩にて避難誘導訓練の実施。**

**\* 徒歩で訓練会場まで来る場合は、中学生と一緒に来てもらいました。**

**（中学生は防災教育としての登校日）**



# 五個荘中学校での訓練について

- 1) 消火訓練 (水消火器) をおこなう。バケツリレーによる消火訓練、ポンプ操法については市消防団第4方面隊が実施
- 2) 救出訓練 負傷者の救出、簡易担架での搬送
- 3) 救護訓練 負傷者の応急手当、AED・心肺蘇生使用訓練等
- 4) 給水訓練 飲料水の配布
- 5) 炊き出し訓練 (おにぎり) 配布
- 6) 防災啓発 防災ハンドブック、防災グッズの展示、五個荘中学校の生徒による東日本大震災の活動報告
- 7) 物資輸送訓練 段ボールパーテーションや毛布等を搬送
- 8) 避難所開設訓練 体育館で段ボールパーテーション等の組み立て
- 9) ボランティア受入訓練 地区社協との連携
- 10) 専門福祉避難所との連携 専門福祉避難所である特別養護老人ホーム清水苑等との連携











# 五個荘地区総合防災訓練の特徴

## ①専門福祉避難所との連携

専門福祉避難所である「特別養護老人ホーム清水苑」の車両にて**災害時要援護者**の方が搬送され、生徒20名が福祉避難所へ指定されている部屋へ誘導する訓練を実施（車椅子の体験）

## ②五個荘中学校を主会場として実施

- 1) 中学校は防災教育として登校日（訓練後 感想文を書く）
- 2) 各自治会の一時集合場所へ来ることにより、地域住民と中学生のふれあいの場所となる

③訓練の割り当てをおこなっていないため、参加者や中学生が率先して訓練に参加する。

# 五個荘中学校の避難所運営支援計画に基づいた訓練の実施

～避難所運営マニュアルから～

- 1) 臨機応変に対応・活動する。（自分で正しい行動がとれるように）被災者の立場に立ち、誠心誠意を尽くして行動をする
- 2) ボランティア活動・・・「自分がまず動く」、「自分たちに何ができるか」

## 五個荘地区総合防災訓練の効果について

- ①各自治会での防災、減災に対する意識の向上
- ②住民の防災・減災の高揚が期待できる
- ③市、五個荘中学校や各自治会・各種団体との連携
- ④自主防災組織率の向上にもつながる

平成24年五個荘地区の自主防災組織率56.39%（14自治会）

令和4年3月末五個荘地区の自主防災組織率**93.69%**（**24自治会**）